

# 令和6年度 学校経営方針

## 1 校訓

賢く 優しく 逞しく 美しく

## 2 学校教育目標（目指す生徒像）

よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る生徒の育成

### ○「よく考える生徒」（賢く）

進んで学習し自分の課題に取り組み、考えを深め、善悪を的確に判断し行動でき、きちんとした言葉遣いができる生徒

### ○「心豊かな生徒」（優しく）

礼儀正しく、進んで笑顔であいさつでき、相手の気持ちを思いやり、相手の立場にたって心遣いができ、人や物を大切にし、約束を守り協力して仲良く活動できる生徒

### ○「心身ともに逞しい生徒」（逞しく）

規則正しい生活習慣が身につき、自他の生命を尊重し、健康と安全に気をつけ、進んで体を鍛え、感動を心と体で表現できる生徒

### ○「勤労奉仕の心をもつ生徒」（美しく）

的確に状況を判断し、勤労の精神を尊び、労を惜しまず進んで働き、社会に貢献できる生徒

## 3 目指す学校像

生徒・保護者・地域から頼られる学校

## 4 目指す教職員像

何事にも真摯に取り組む教職員

○教育公務員としての自覚と使命感をもち、誠実に職務に励む教師

○豊かな知識と確かな教科指導技術をもつ、授業で勝負できる教師

○生徒理解に努め、生徒の夢の実現に向けて的確に導ける教師

## 5 学校経営方針

全職員の経営参画による学校経営を推進し、生徒が安心・安全に通える学校、地域から頼られる学校を目指します。

教職員すべてが、生徒の健全育成に欠かすことのできない大切な存在である。このことを、改めてすべての教職員が自覚し、日々それぞれの職務に、誠心誠意あためていただきたい。

(1) すべての生徒が、自分のよさや可能性を認識し、意欲的に学ぶことができる魅力ある学校を目指します。

(2) 全ての教育活動を充実させ、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指します。

(3) 学習指導要領のもと、主体的・対話的で深い学びの授業実現を通して、生徒に生きる力を

育むことを目指します。

- (4) 生徒相互、生徒と教職員の好ましい人間関係を確立し、保護者・地域社会・関係諸機関との連携を深め、信頼される学校を目指します。
- (5) ノーマライゼーションの理念に基づく、特別支援教育の視点を取り入れた学校経営を充実させ、一人一人を大切する楽しく行き甲斐のある学校を目指します。
- (6) 教育公務員としての使命感を持ち、誠実に勤務する職員が、全力で指導にあたる学校を目指します。
- (7) 生徒指導・学習指導・部活動・学校行事等、どんなことにも手を抜かずにあきらめず、きめ細かく、丁寧な指導をする学校を目指します。
- (8) 一人一人の良さを認め、育む教育の充実をとおして、他者を価値ある存在として尊重し自他の人権を守る「いじめ」のない学校を目指します。

## 6 指導の重点 ～子供たちが未来を切り拓くための資質・能力の育成～

- (1) **基礎・基本を重視し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現。**

\*学習指導の充実は学校教育の基本である。

○基礎・基本を徹底して理解させる指導の実践。

○子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供し、他者と協働する学習の実践。

○主体的・対話的で深い学びを実現し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成。

- (2) **心身の健康保持と体力向上に向けた指導の充実。**

\*心身の健康保持・体力維持は、生きていくための基礎である。

○健康でなければ、自分がやりたいことが満足にできない。体力がなければ、継続する力は育まれない。

○意図的・効果的な部活動の積極的な推進。

- (3) **共通理解、共通行動による生徒指導の充実、深化。**

\*生徒指導は学校教育の基礎である。

○生徒理解に基づいたきめ細かな指導の徹底。

○同一姿勢、同一行動による丁寧な指導の徹底。

○自己実現を図る積極的な生徒指導の推進。

○報告・連絡・相談の徹底。

- (4) **学ぶことと自己の将来とのつながりを見通せるキャリア教育の推進**

\*社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する。

○「なぜ学ぶのか」を深く考えさせる。

○キャリアパスポートの活用。

○生徒の自己実現を支援する進路指導の充実。

(5)ノーマライゼーションの理念にもとづく特別支援教育の推進。

\*特別支援教育も学校教育の基礎である。(特別支援学級は学校の宝)

○関係機関と積極的な連携の推進による特別支援教育の充実。

○通常学級に在籍する特別に配慮を要する生徒への指導・援助の充実。

(6)人権を尊重した教育の推進

\*学校の教育活動全体を通して人権教育を推進する。

○全ての教育活動を通じた、一人一人の良さを認め育む教育の実践。

○様々な場面を通じた自己有用感(自己肯定感)を育む教育の充実。

(7)保護者、地域社会、関係諸機関と積極的な連携強化。

\*保護者、地域社会、関係諸機関との連携強化を図る。

○意図的・計画的な連携を進める組織体制の確立。

○地域貢献活動の積極的な推進。

(8)職員すべてが働きがいのある職場づくりの推進。

\*教育活動のすべては、職員の方々の日々の働きにかかっている。

○公務員としての服務規律の徹底。

○教職員として使命感に溢れ、誠実な勤務の実践。

○執務環境の整備と資源節約の徹底